

# 教育とは燃えることなり

株式会社タニサケ取締役会長

松岡 浩



## 「頭の偏差値」より「心の偏差値」を

昨年、ある会社のオーナーの著書づくりに関わりました。初めて原稿に目を通したとき、私は「これは立派なものだ。この会社の最良の教科書となり、最高のPR本となるに違いない」と確信しました。

そこで、その会社の担当者に原稿の校正や写真の変更などをお願いしましたが、自社のオーナーの本だというのに、実に冷めていて、いつこうにはかどりません。私はすっかり嫌気がさして手抜きをしたくなったり、「いつそのことやめようか」とも思いました。しかし、やりかけた仕事を途中で投げ出すことは、いかにも残念でなりません。自分で自分に鞭打つような気持ちで、燃えに燃えて骨惜しみせずにやり続けました。そんな私の気迫を感じたのでしょうか、本づくり

それでは、どうしたら「心の偏差値」を高めることができるのでしょうか。

「心の偏差値」は、自分の時間や労力を人を喜ばせるために使うことで高まります。家庭であれば、幼いころからお手伝いの習慣をつけることです。掃除でも食事の支度でもよいのです。お子さんのいる方はぜひ今日から、勉強より一日五分でもお手伝いをさせてください。その体験が必ずお子さんの将来に生きてきます。打算を持たずに自己犠牲を続けていると「心の偏差値」は高まり、それに伴って周囲にもよい影響を与えられるようになります。つまり「感化力は自己犠牲に比例する」のです。親であれ、教育者であれ、経営者であれ、人を導く立場にある人は、みずから率先して自己犠牲に励み、毎日薄紙一枚分でも「心の偏差値」を高める努力を続けましょう。それが自身の、周囲の人々の幸せにつながります。

## 「教員」ではなく「教育者」に

教育学者の森信三先生をして「明治以降のわが国の教育界における『百年一出』の巨人」と言わしめた小学校教師・徳永康起先生はこう述べています。「教育を衣食住のためにする人を教員という。知識、技術をさしきる人を教師という。そして、子どもの心に灯を点す人、これを教育者といふ」「学校嫌い」の子どもが増えていく大本の原因は、学

松岡浩の人生道場  
第4回

が後半になつたころには、担当者がやつと本気になつて協力してくれるようになり、しかも燃えてくれました。そのおかげでよい本ができました。

この体験を通じて感じたことは、「燃えない仕事仲間に火をつける（湿った木に火をつける）には、自分自身があかあかと燃えていないといけない」ということ。つまり「自分が燃えていなければ、相手の心中に火をつけることはできない」という真理を体感したのでした。

最近は「学校嫌い」の子どもが増えていたと言われます。学校嫌いの子どもとはつまづた木のようなものです。本来、学校の先生の一番の仕事は、子どもの心に夢や志を植え付け、人生を生き抜く力を育むことにあります。学校の先生が少なくなりました。勉強の教え方は上手でも、子どもの心に火をつけられない、燃えていない先生が増えているのです。

私は、人生では「頭の偏差値」より「心の偏差値」のほうが重要だと思っています。勉強は、できないよりもできる「頭の偏差値」を持つていても、人の心の痛みがわからなければ、その人生は決して意義あるものではありません。多少算数はできなくとも、人の痛みがわかる思いやりを持ち、誰にでも明るく挨拶ができる、そんな「心の偏差値」の高い人になれば、きっと幸せな家庭と大きな縁に結ばれた人生を築けるはずです。

校に「教員」ばかりが増えて、「教育者」が少なくなっている点にあります。

最近、こういうことがあります。

用事である学校の職員室に入ると、机の上には山積みされた書類があり、部屋全体が雑然としていることに驚かされました。来客に挨拶もできない先生、人を立たせたまま「どんなご用でしようか」と尋ねようともしない気配りのない先生。こういう「心の偏差値」の低い先生方が多い職員室は、必ずといっていいほど陰気です。陰気な先生に毎日教えを受けていれば、「湿った木」のようになる子が増えるはずです。

職員室の雰囲気が陰気だと、最初は生氣に満ちていた先生も、しだいに雰囲気に毒されて陰気になつてくるものです。会社と同じでひとたび雰囲気が悪くなると、一人や二人ががんばつてみても、なかなか良くはなりません。それを変えられるかどうかは、組織の「長」である社長なり、校長の気概にかかると思います。

私は以前から「日本を美しくする会」という全国組織に加盟し、主に小中学校に依頼して、仲間の経営者と共にトイレ掃除を行っています。ある学校では二年連続で、先生やPTA役員が参加してのトイレ磨きを行うことができ、それによって学校の風紀もいくらか上向きました。ところが先日、またお願いしようと校長に依頼に出向くと、「新しく転任してきたばかりで、忙しくてそんなことはできません」と、けんもほろろに断られてしまいました。

学校でのトイレ掃除には、地元・池田町の下野義弘教育長(上)やPTA役員も参加されます



また他のある校長はこう言いました。「そういうことは年度始めに言つてもらわないと……」。

せっかく根づいた「心磨きのトイレ掃除」が、心ない校長の一存で途切れるのが残念でなりません。

こうした校長に私は森信三先生の名言を伝えたい。「学校の再建は、まず紙くずを拾うことから……」。次にはクツ箱のクツのかかとが揃うように。眞の教育は、こうした眼前の瑣事からスタートすることを知らねば、一校の主宰者たるの資格なし」

### まず紙くずを拾うことから

公立学校の校長は、教育委員会から任命されてやります。そうした校長の多くは、生徒を見ずに、上(教育委員会)ばかりを見て仕事をしているのです。もちろん、中には立派な校長もおられます、情けない校長が多いのが現状です。

そこで私は、これから日本の教育のために、校長は、過去の経験や学歴ではなく、次の三つの条件に基づいて選ぶべきだと考えています。

- ①月一回の全校集会で「偉人伝」を生徒が聞き耳を立てて聞くくらい、おもしろく語れること。
- ②生徒や保護者に向かつて「人生のあり方」について熱意を持つて語れること。

- ③「長たるものは誰よりも損を」との気概で、ゴミ捨ての実践ができること。

最低この三つを備えた、感化力のある「光る」校長が増えれば、日本の教育も、社会も変わるはずです。

昨年三月、地元中学のM校長から、「卒業式が終わったのですが、二名の女生徒が進学も就職もしないで家にいるのです。タニサケさんで一週間だけでも研修させてくださいませんか」と依頼を受けました。私がもう卒業した生徒なのに、まだお世話をされるのですか」と尋ねると、M校長は「三月三十一日までは、私の責任ですから」ときっぱり言わされました。

M校長の使命感あふれる教育者魂にふれ、私も燃えました。数日後、その女生徒たちを大切にお預かりし、五日間の実習では主に挨拶の向上をめざしました。実習終了後、その生徒たちはM校長に「四月になつたら、すぐ就職します」と報告したそうです。

その翌朝、M校長が来られ「中学校三年間で教えられなかつたことを、タニサケさんがわざか五日間で教

えられた秘訣はなんですか」と尋ねられました。

私はこう答えました。

「当社でやつたことは二つだけです。一つは二人の生徒が来たとき、とてもよい挨拶をしたので『君たちの挨拶はすてきだね。これだけの挨拶をする生徒はなかなかいないだろ』と褒めたこと。もう一つは、二人の世話をした若い男性社員が、実習を終えて自転車で帰る二人を『お疲れさま、無事に家まで帰つてね』と祈るような気持ちで、姿が見えなくなるまで見送つたことです。この社員の姿を見たとき、これほどまでにやるのかと、私は涙が出るほど嬉しかったのです」

M校長には、当社の社風についてもお伝えしました。「社風というのは、例えば、味噌づくり、パンづくりのようなものです。いい味噌、いいパンをつくるためには、その部屋にいい酵母が充満していなければなりません。酵母が充満したような社風、なんとも言えな



### 松岡浩の人生道場

い雰囲気がタニサケにはあつたので、女生徒が就職する気になつたのではないかと思っております」と。  
何も会社の自慢をしたかったわけではありません。会社の社風は、学校で言えば職員室の雰囲気です。M校長が今後もその気概を持ち続け、日々率先して後ろ姿の教育実践を重ねていけば、必ず学校はよくなるはずです。M校長への期待と励ましを込めて、私はあえてこう申し上げたのです。

燃えない周囲を嘆く前に、まずは自分が燃えること。それが湿つた学校や家庭、会社を変える唯一の方法なのです。

**センター ホテル 成田**  
多古米コシヒカリ  
焼きたてパンの無料朝食付  
ホテル隣接地に  
無料大型平面  
駐車場完備  
シングルルーム ¥6,300  
DXシングルルーム ¥8,400  
ツインルーム ¥12,600  
(税・サ込み)  
— 全130室 —  
冷蔵庫完備  
しました。  
photo: DXシングルルーム  
JR成田駅  
至東京・千葉 To Tokyo/Chiba  
至佐原・空港 To Sawayaka/Airport  
京成成田駅  
至上野 To Ueno  
至佐倉 To Sakura  
センターホテル成田  
マンション  
成田市役所 Naria City Hall  
至佐原 To Sawayaka  
平山建設  
●京成成田駅より徒歩2分  
●JR成田駅より徒歩5分  
ご予約・お問合わせは  
**NaSPA**  
平山建設株式会社グループ  
**センター ホテル 成田**  
〒286-0033 千葉県成田市花崎町922番地  
**TEL. 0476-23-1133**  
<http://www.c-hotel.jp/>  
iモード 予約  
<http://www.narita.com/center/imode/>